

防衛大臣 稲田 朋美 様

## 米軍普天間飛行場所属MV 22 オスプレイ「墜落」事故に関する抗議・申し入れ

沖縄へのオスプレイ強行配備以来、恐れていた事態が遂に発生した。恐怖と怒りで震えが止まらない。

昨日12月13日午後9時30分頃、沖縄県名護市安部沖合の浅瀬のリーフで、夜間訓練中とみられる米軍普天間基地所属のオスプレイ1機が「墜落」した。

報道機関の空撮写真によると、機体は横倒しになって大破し、胴体やプロペラが折れているのが視認できる。「不時着水」との表現は不適切で、紛れもなく「墜落」事故だ。乗員に死者が出なかったのは奇跡としか言いようがない。破損状況のひどさがオスプレイにおけるオートローテーション（自動回転機能）欠如を物語っている。

日米両政府は、多くの県民の反対の声を無視して東村高江の米軍ヘリパッド建設を強行している。かかる米軍ヘリパッドを使用予定の軍用機が起こした事故であることは間違いない。

折しも、北部訓練場やキャンプ・ハンセンに隣接する民間地上空で、普天間基地所属のオスプレイ等による物資吊り下げ訓練が昼夜を問わず行われ、近隣住民の不安が募る中での「墜落」事故である。

本件「墜落」事故によってオスプレイの構造的欠陥が改めて露呈された。提供施設であるか否かにかかわらず、県内を縦横無尽、好き勝手に飛び回るオスプレイの運用状況からして、市街地や学校など民間地への墜落事故は避けられない。

以上、県民の命と暮らしを守る立場から強く抗議し、さらなる大惨事を起こさせないため下記について申し入れる。

1. 普天間基地所属のMV 22 オスプレイ 24機全てを即時運用停止の上、撤去すること。
2. 米軍北部訓練場におけるヘリパッド建設を即刻中止し、米側への提供を撤回すること。
3. 米空軍CV 22 オスプレイの日本配備及び沖縄県内への訓練飛来を認めないこと。
4. 陸上自衛隊におけるV 22 オスプレイ導入計画を即時断念すること。

2016年12月14日 沖縄県選出国會議員

衆議院議員 照屋 寛徳

衆議院議員 仲里 利信

衆議院議員 赤嶺 政賢

参議院議員 糸数 慶子

衆議院議員 玉城 デニー

参議院議員 伊波 洋一